

情報交換の“場”、参加希望者の募集について

第11回JBFシンポジウムでは、クロマトグラフィーのレギュラトリーバイオアナリシスに関する、**情報交換の“場”**、というセッションを企画致しました

クロマトグラフィーのレギュラトリーバイオアナリシスに関して、気になる点、悩んでいる点をお持ちの方や外部の考え方を知りたい方等、本セッションに是非参加して、情報交換や議論しませんか

※本セッションは、自由に情報交換していただくことを目的に、非公開のセッションとして開催致します。事前にご応募いただいた方以外は入場できませんのでご了承ください。なお、議論された情報や内容を議事録として残すことはありません（情報や議論内容を外部に公表することはありません）

セッションの概要

趣旨	日頃の業務について、社外と方々と気楽に議論したいと思っている方に『情報交換の場』を提供
開催日時及び場所	シンポジウム第2日目：2月26日 9時～10時45分、サテライト会場
議論の進め方	ラウンドテーブル形式、予定人数：30名程度 各テーブルの進行役は、JBFが担当 10名程度のグループに分かれ、いくつかのテーマについて議論
対象とするテーマ	『LC-MS』に関することに限定 JBF及びWeb参加登録者から提案された中から数テーマを選択 ¹⁾
メンバー	第11回JBFシンポジウム参加者のうち、セッション参加を希望された方 ²⁾

1) テーマについては 皆さんからご提案下さい。その中からご要望の多いものを選択させていただきます！

【テーマ例】

- ① 実試料測定-IS レスポンス評価 (FDA Guidance)
- ② パーシャルバリデーションの実施方法の中で以下のポイント
 - 異なるマトリックスの捉え方：同じ動物種の系統違い（病態モデル）はどう取り扱っているか？
 - 同じ構成のシステムならどの程度の確認を行う？
- ③ 血液中安定性の評価方法において
 - 試料調製時の平衡化時間は？
 - ブランク 血液は購入品 or ボランティア？

皆さんが日頃抱えている疑問・難問の解決に、この場をご利用下さい！

積極的なご提案をお待ちしています！

提案多数の場合はテーマとして採用されない場合もありますが、その際にご容赦ください。

2) 参加を希望される方が予定人数を大幅に超えるような場合、以下の基準で人数を絞らせていただく可能性があります

【参加者選抜方法】

テーマを提案いただいた方、JBF法人会員様及び賛助会員様から1名を優先
残席についてその他企業様から1名を選抜（申込順優先）